

太素の水プロジェクトが未来遺産に決定!

日本ユネスコ

青森県初!

「太素の水」保全と活用連合協議会事務局（新渡戸記念館内） ☎ 234430

昨年12月26日、地域の文化・自然遺産を未来へ伝える「プロジェクト未来遺産」（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催）に稲生川をめぐる市民活動“太素の水プロジェクト”が選ばれました。皆さんの努力と思いが実り大変嬉しく思います。ご支援ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

今後も稲生川の保全と活用を通して、より良い地域を未来に遺すために努力を重ねていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。生涯学習の場、人づくり・地域づくりの場としても多くのかたにご参画いただけたら幸いです。

「太素の水」保全と活用連合協議会 会長 新渡戸常憲 つねのり

一 太素の水プロジェクト 一

150年前の人工河川稲生川の開削に始まる先人たちの地域づくりは、自然を敬い人々の自立的協力により大業を成すというものでした。

その志を受け継ぐ、一本木沢ビオトープ協議会、稲生川せせらぎ活動委員会、新渡戸記念館ボランティアKyosokyodo（共創郷土）の市民活動を、北里大学獣医学部、稲生川土地改良区、新渡戸記念館との連携により、『「太素の水」保全と活用連合協議会』の太素の水プロジェクトとして推進してきました。

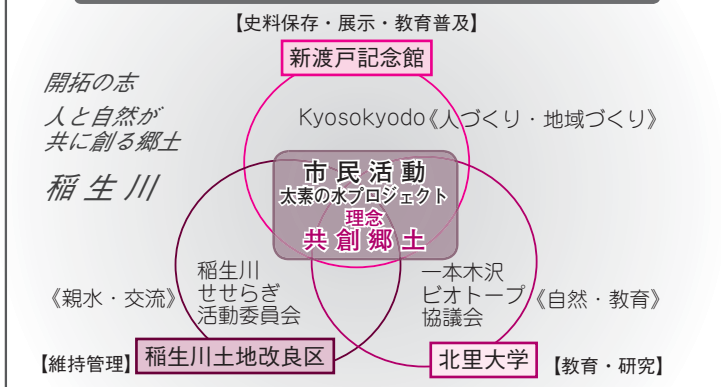
この活動は“人工河川稲生川開拓の志を活かし、人と自然が共に創る郷土を未来に”との共通理念のもと行われています。



稲生川の恵みにはぐくまれた
十和田市の田園風景

～ 太素の水プロジェクト活動団体のかたがたの喜びの声 ～

「太素の水」保全活用連合協議会 組織・概念図



これまでの皆さんの努力が実り、未来遺産に登録することができて大変嬉しく思います。今後は、稲生川をめぐる3つの団体の活動の意義をより深く、広く、多くのかたに知っていただき、稲生川の恵みとこうした活動の成果を地域全体に活かせるような努力をしていきたいと思っております。



太素塚元朝参りの
キャンドルライトアップ

(Kyosokyodo 共創郷土 会長 新渡戸富恵)

これまでの活動が未来遺産登録という形で評価され、嬉しく思います。私どもの稲生川せせらぎ活動委員会も設立から10年近い年月が経ち、会を引っ張ってきたかたがたも高齢化の傾向にあります。

今回の登録で、若い世代にもっと興味を持ってもらい、活動を受け継いでもらえればと思います。



稲生川せせらぎ水路の水車

(稲生川せせらぎ活動委員会 会長 平野隆夫)

登録が決定し、大変嬉しく活動が全国的に認められたと感じています。活動をPRできる良い機会になりました。

一本木沢ビオトープ協議会としても一層努力し、今後も3団体手を取り合って活動したいと思います。

市民のかたがたにも活動を知っていただき、活用していただければと思います。



ビオトープ森の生き物探検

(一本木沢ビオトープ協議会 会長 松田石松)

今後の活動目標 - 稲生川の自然、歴史、文化を守り、活かした地域づくり -

- ▶ 稲生川流域の自然の保全と活用の発展、及び稲生川開削と三本木原開拓の志の伝承。
- ▶ 人と自然の共生や生物多様性の認識を学習と体験により深める。
- ▶ 市民の自立的参加による地域文化の創造。
- ▶ 稲生川を核に自然・農業・産業・教育・福祉・観光などの分野を有機的に結び相互に活かす仕組みづくり。
- ▶ 震災を乗り越えてゆく拠点的な活動として他地域にも発信する。

3月18日(日)には、未来遺産登録授与式を行い、稲生川未来遺産フォーラムを開催します。